



森ボラ 通信

第167号 2016年4月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

■ トピックス

◆ 実践による啓発活動の大きな一歩を踏み出す！

森に関心のある11名の子供たちが集まり

“2016 森しり隊” がスタート

《親子森林教室・森しり隊の発足にあたって～酒井代表幹事》

2016年4月3日、Lプラザに於いて子どもたち11名とその保護者が集まって発足式・オリエンテーションが開催され、親子森林教室が大盛況裏に始まりました。2年間をかけた担当者の努力に感謝するとともに、これが協会にとって新しい



主力活動になるので全会員の特段の協力支援をお願いします。これにより協会は今までの森林保全の実践活動中心から啓発活動へと大きく舵を切ることになります。

主催者挨拶で私は「生きる力」の話をしました。私たちは森の活動から「元気」をもらっていますが、これは文科省が森林ボランティアに期待する「生きる力を育む」ことと同じだと私は思います。今、森林教室を行っている団体はたくさんありますが、ほとんどは自然観察と学習が中心です。私たちの特徴は

“森林保全の実践”です。種拾いから植栽、間伐、植菌まで、いつもやっていることが中心ですから自然体で子どもたちに接しましょう。

協会は14年の歴史の中で宮の森中、有明小、幌南小、札幌工科専門、澄川南小などの教育支援を行ってきましたが、今後は自力でこの企画を進めていきます。森林保全の大切さを子供たちに伝えて、森で活動する楽しさを知ってもらい、共に元気になりましょう。(文・酒井)

《第1回目～発足式・オリエンテーション、そして早速「木から出来るもの」を学習》

「虫籠を持って行っても良いですか」、「体や目で感じたら何が見えてくると思って」、「カンジキとブーツの履き心地はどんな違いか知りたい」……など、自然や外遊びが大好きで森に関心のある多彩な子どもたち8組11名が集まってくれました。

4月3日、親子森林教室に参加を申し込んだ子ども10名(1名欠席)とその保護者8名、協会員14名が参加して、“2016 森しり隊”の発足式およびオリエンテーションが開催されました。発足式では、先ず協会員から自己紹介を行い、続いて保護者から子どもたちの紹介と森しり隊参加の動機や活動への期待などが話されました。そして、主催者を代表して酒井代表幹事から子どもたちに、森を育てるいろいろな活動を一緒にしましょうと挨拶がありました。

続くオリエンテーションでは、事務局から森しり隊の1年間の活動内容や参加にあたっての約束事、安全に活動するための諸知識を、配布した活動手帳を使って説明しました。

休憩を挟んだ後半では、早速「木が原料の製品は何か？」と題する学習です。説明者の荻田さんは、木そのもので出来ているもの、木を構成する物質を原料として出来るもの、木からとれたものを食料として利用するものに分けて、実物を示しながら説明し、木が私たちの生活にいかに密着しているかを知って森に入ろうと呼びかけました。

続いて、次回に作るネームプレートの原板が配られ、担当の田山さんから当日までにデザイン化してくるよう説明し、最後に次回の予定と質疑応答を行って終了しました。

こうして森ボラは新しい活動に大きく一步を踏み出しました。

この歩みをしっかりと進めていきましょう。なお、次回は4月24日（日曜日）、澄川で、ネームプレート作り、木の構造と役割の学習、春芽・若葉の観察、植菌作業、カワニナの観察をします。
(文・清澤)



■ 活動報告

◆ 澄川南小2年生の自然観察会を実施 ～2年生は紅桜公園の森でスノーシュー体験と冬芽の観察

3月7日には、2年生54名を学校近くの紅桜公園の森に迎えて、スノーシューを履いて冬の森を歩く体験と冬芽の観察会を実施しました。

子どもたちは初めて履くスノーシューに悪戦苦闘しましたが、協会の手助けもあってなんとか装着し、6班編成で森の中へ協会員が先導しました。途中、キツネの足跡を見つけたり、雪上に落ちている松ぼっくりや枯葉を拾いながら頂上へ。そこで待っていた酒井さんと西野



(澄)さんが、冬芽について実物を見せながら説明し、また、たくさんある木の中でもミズナラは大切な木であるから是非憶えておいてほしいと教えました。

森は前日の雨の影響が心配されましたが、かえって優しく迎えてくれたようで、暖かい陽射を受けて子供たちは元気に森遊びに興じていました。この子供たちは、この春3年生になると総合学習が始まり、澄川環境林でまた会うことでしょう。(文・清澤)

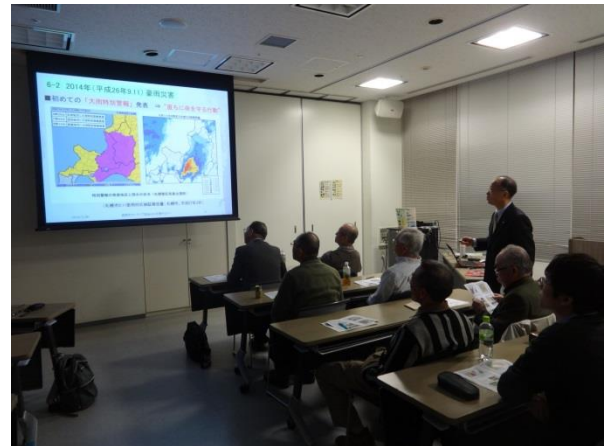
◆ 冬季セミナー

話題：「札幌周辺の地形・地質と環境」、講師：(株)ドーコン 川北 稔 様

前半は地質年代別の変遷、後半は気象・災害・環境等についての講話でした。

今から 137 億年前に宇宙創世、その 9 億年後に焼かれた星の残骸から太陽が生まれ、46 億年前に地球が誕生しました。先カンブリア時代（原生代・始生代・冥王代）を経て、古生代、中生代、新生代、そして 180 年前より第四紀更新世（洪積世）、1 万年前より完新世（沖積世）です。*2000 年以降をノーベル化学賞受賞者パウル・クルツェンは“アントロポセン（人類世）”と提唱しています。

札幌周辺の地形はⅠ-南西部山岳地、Ⅱ-南東部台地・丘陵地、Ⅲ-中央部扇状地、Ⅳ-北部低地に 4 区分されます(6 地区に区分している文献もある「札幌地盤図」)。更新世 13 万年前の北海道は“石狩海峡”（札幌―苫小牧）により分断されていました。しかし 8 万年前の支笏大噴火と火砕流（溶結凝灰岩―札幌軟石の形成）により陸域化、石狩低地帯中～南部埋積、台地化、谷地形を形成しました。約 6000 年前の縄文海進は海水面が 3～5m（～7m）上昇し谷地形の埋積（埋没谷）、現札幌扇状地の形成開始、その後古石狩湖、砂州（紅葉山砂丘）、砂堤列、泥炭層の堆積 等ほぼ現在の地形になりました。



札幌の気象はなんとといっても降雪量が多い事です。人口 200 万近い都市でありながら 600 c m/年（最近は小雪で 400～500 c m前後）です。2008 年 2 月の暴風雪で長沼では 200 台の車が閉じ込められました（人的被害なし）。

2004 年台風 18 号は札幌市内で多くの風倒木が発生し、また国道 229 号（神恵内）では大森大橋が落橋しました。2014 年豪雨では厚別川の氾濫、市内の雨量は 50～150mm/24 時間に達しました。

地震の発生は内陸部では太平洋岸に比べ少ないが、2010 年の石狩中部地震では震度 2～3 が記録されており、羊が丘地区では液状化の被害がでました。札幌～北広島周辺には活断層が確認されています。

その他、支笏火砕流で生成された札幌軟石は建築の基礎として使用され、また野幌粘土層は煉瓦として広く利用されています。自然界は時として厳しいものがありますが、洞爺（湖）、支笏（湖）外の事例のように自然の素晴らしい恩恵を受け、人類と共生していく十分な準備と工夫が大切と思います。（文・千葉）（講演要旨の一部を加筆しています）

■ お知らせ

◆第14期定期総会開催のお知らせ◆

第14期定期総会を下記の通り開催します。

日時：2016年5月9日（月）15：30～16：30

会場：札幌市エルプラザ2F・環境研修室1、2（札幌市北区北8条西3丁目/TEL・728-1222）

※なお、開催に当たり議決委任状を発送しております。ご都合で出席できない会員には事前に事務局あて委任状の送信をお願いいたします。

議案

第一号議案 2015年度事業報告、決算報告、監査報告承認の件

第二号議案 2016年事業計画（案）、予算計画（案）承認の件

第三号議案 「森ボラ協議会」に係る件

2015年度事業報告、決算報告・2016年度事業計画（案）、予算計画（案）

第四号議案 理事改選の件

その他

■今月の幹事会

出席者：市山、大窪・荻田・加藤・清澤・酒井・高野・釣井・西野(働)

1. 新年度を迎えて・・・創立 14 年目に入り森の保全活動の継続と次世代の子供たちへの啓発活動が親子森教室としてスタート出来ました。15 年の節目に向かって大きなステップとなって欲しい。
2. 2016 年 5 月、6 月スケジュール・・・幹事会 5 月 6 日(金)・理事会、総会 5 月 9 日(月)
3. 親子森林教室第一回のイベントの確認・・・4 月 3 日の発足式には 8 家族、11 名の“森しり隊”隊員が集結しました。4 月 24 日“森しり隊”指導役の担当説明者、補助者の確認。
4. 森林・山林多面的発揮機能対策・・・2016 年度の予算が北海道多面对策地域協議会から承認されました。
5. ローソン体験学習 5 月 21 日(土)・・・昨秋延期となった体験学習の開催が決定。
6. 2015 年作業結果の報告・・・現場活動：180 機会、参加延べ人数 1,813 人。
内部活動：28 機会、参加延べ人数 411 人。
7. 15 周年記念誌発刊に当たって・・・継続して対応して行く。
8. 委員会報告
広報委員会・・・土・日ボランティアしませんかの掲載。今年度から参加費として 500 円徴収。
助成委員会・・・こどもゆめ基金、トム・ソーヤスクール企画コンテスト、日本フィランソロピー協会基金に申請。
研修旅行・・・北海道大学雨竜研究林に決定(10 月 4・5 日)。
9. その他
 - ・森が海の恋人植樹祭、三陸被災地訪問(6/2～6/8)・・・荻田、市山、三橋の参加決定。
 - ・「国民の森林づくり推進功労者」で林野庁長官賞内定・・・贈呈式は 5 月 7 日道庁赤レンガ前。
 - ・フェイスブックによる情報発信・・・多くの人に活動日報の共有化を図って行きたいので今後検討して行く。
 - ・臨時幹事会(4/22)・・・第 14 期総会資料の擦り合わせ。
 - ・2016 年度第 1 回理事会 5 月 9 日(月) 15:00 から 15:30 L-プラザ 3F OA 研修室
 - ・2016 年度第 14 回総会 5 月 9 日(月) 15:30 から 16:30 L-プラザ 2F 環境研修室 1,2 号室。
 - ・2015 年度会計報告。

■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
3 月 18 日(金)	澄川	14	E-2 間伐、集材作業・樹名板の作成
3 月 22 日(火)	澄川	14	ホダ木作り(シイタケ用 103 本、ナメコ用 102 本)
3 月 24 日(木)	澄川	10	親子森林教室で使用の名札製作
3 月 28 日(月)	澄川	15	テーブル用、橋げた用支柱の皮むき(40本)
3 月 31 日(木)	澄川	9	E-2 集材作業
4 月 3 日(日)	札幌エルプラザ	14	親子森林教室“森しり隊”の発足式(8 家族 11 名)
4 月 5 日(火)	澄川	13	E-2 伐採木搬出・危険木除去(小屋⇒キャリコ橋)
4 月 7 日(木)	澄川	11	親子森林教室で使う木の構造説明用教材加工
4 月 8 日(金)	ラルズビル	9	定例幹事会
4 月 12 日(火)	澄川	12	E-2 ボサ整理・危険木除去(中流橋付近)
4 月 14 日(木)	澄川	8	E-2 ボサ整理・危険木除去・丸太椅子 35 脚作成